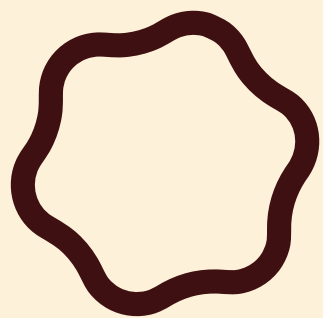




図書館だより

HGU Library

library.hgu.jp

vol.231

Spring 2025

大学図書館の魅力

『“好き”のルービックキューブ』

経営学部経営情報学科講師 中川 裕美

大学図書館の魅力

先生に聞く！おすすめ図書館活用術

経済学部地域経済学科講師 松本 秀人

学生に聞く！おすすめ図書館活用術

図書館のお仕事

図書館オリエンテーション

『“好き”のルービックキューブ』

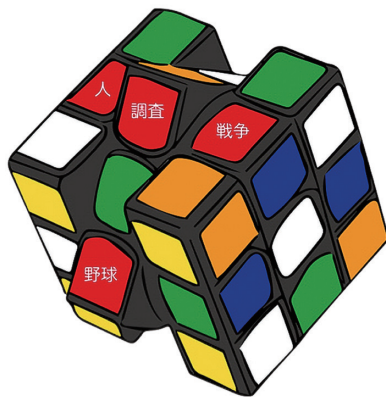
経営学部経営情報学科講師

中川 裕美



NAKAGAWA Yumi
広島修道大学大学院人文科学研究科
心理学専攻博士後期課程修了。博士
（心理学）（広島修道大学）。専門は
社会心理学。研究テーマは、社会集
団の協力行動に関する研究。

「好き」なことを自分の中に積み重ねて活かすことを物に例えるなら、ルービックキューブが思い浮かぶ。立体パズルのルービックキューブは、異なる色をしたマス（基本は3×3）をカチカチと回転させながら面を同じ色に揃える遊びである。様々な経験から感じる「好き」も最初はバラバラな状態かもしれないが、教育などのふとしたきっかけが回転の役割を担い、「好き」という一面が揃って何かが生まれることがあるのではないか。好きなことだけでは生きていけ



イメージ図

ないというのはごもっともだが、一面が揃う将来のために必要な経験と知識はいくらあっても損はない。今回は、私が研究を好きになった回顧録に少々お付き合いいただきたい。

興味の芽吹き

私は小学6年生の時（約21年前）に行う総合的な学習の時間ではじめて調査というものにふれた。班ごとに分かれ「落ち葉の多い場所を突き止める」「公園の改善点を明らかにする」という2つのテーマを調べることになった。うる覚えではあるが、税を有効活用するために清掃が必要な箇所や公園の保全箇所を見つけようといった目的だった気がする。本来の調査に比べるとままたこのレベルだが、この経験が「好き（面白い）」を醸成したきっかけといえる。落ち葉の多い場所を探すために、ほうきとちりとりを持って小学校付近の公園、歩道などを歩き回り、落ち葉を収集して袋につめ場所ごとに重さを測るという地道な作業を行なった。それと並行して道を歩いている大人に手当たり次第に声をか

け、「公園で直してほしいと思う場所はどこか」とインタビューした。優しいような女性にばかり声をかけたのでサンプルは非常に偏っている。小学校に帰ると、用意されていた模造紙に大きい定規とマッキーを使って落ち葉量の棒グラフを場所ごとに描き、マップを作り、大変だったことや分かったことを発表した。小学生なりの調査の結果、落ち葉が多いのは公園であり、インタビューでは公園の遊具修繕が第1位として挙げられた。子ども側の予想（要望）はトイレの修繕であったため、大人と子どもの意見の相違に驚いた記憶がある。

また、私の出身である広島は平和学習に力を入れている。誰もが一度は課外活動として広島平和記念資料館（広島県広島市）行ったことがあるし、戦争の悲惨さを訴えるビデオを視聴することもある。例えば、ルワンダの内戦に巻き込まれ、片足を失った男性がパラリンピックの競泳競技に出場したという内容があった。この頃から集団間のいさかいが激化する状況に興味を持ち、「悪い人が悪いことをするんだ」という

友達の一人的な解に疑問を持ち始めた。

野球ファンの不思議

しかし、小学生時代から問いを探求する研究者を目指していたわけではない。私のもっと好きなことは別にあったからだ。広島東洋カープである。昔の市民球場ではチケットが無料で配られ、社内イベントとして家族単位で野球観戦を行うのが恒例になっていた。地域柄、カープは「応援すべき」ものだと仕向けられている（と言わざるを得ない）。野球観戦をする中で、「野球ファンがライバルチームのファンと喧嘩するのはなぜか？」「ファン同士の仲が良いのはなぜか？」などの疑問が生じた。ファンとして気持ちに分かるが、そのメカニズムまではうまく説明できなかった。野球ファンと戦争の話はかけ離れているように見えるが、あるカテゴリーに沿った集団行動という文脈では同じである。そこで、大学生時代に自分が好きな野球ファンを題材にして集団間のいさかいや協力行動を探ることを決めた。この意思決定は、調査が好き、集団単位で物事の原因を考えるのが好きという「好き」の組み合わせがなかったら存在しなかった。

心理学の早期教育

自身の経験も踏まえると、総合的な学習や心理学的教育は早期から行うことが良いのではないか。近年、日本心理学会では高校心理学教育



総合的な学習の時間（当時小学6年生）

おすすめの本



『まんがでわかる社会心理学』
北村 英哉 監、小日向 淳 文、松岡 リキ 画
（カンゼン 2021 年）



『「性格が悪い」とはどういうことか
——ダークサイドの心理学』
小塩 真司 著
（ちくま新書 2024 年）



『争いばかりの人間たちへ
ゴリラの国から』
山極 寿一 著
（毎日新聞出版 2024 年）



お す す め 図書館活用術

図書館学課程の先生に聞きました！

経済学部地域経済学科講師

松本 秀人



MATSUMOTO Hideto
北海道大学大学院国際広報メディア・観
光学院観光創造専攻修士課程修了。修士
（観光学）（北海道大学）。専門は図書館
情報学、観光学。研究テーマは、図書館
と観光の融合。

おすすめの本



『世界を変えた 100 の本の歴史図鑑』
古代エジプトのパピルスから電子書籍まで！
ロデリック・ケイヴ、サラ・アヤド 著
樺山紘一 監、大山晶 訳
（原書房 2015 年）

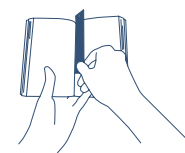
皆さんの中には「これまで図書館を
けっこう使ってたよ」という人もいます
と思いますが、そういう人でも大学図書
にはあまり馴染みがないかと思えます。
大学図書館は様々な魅力を持っています
が、とりあえず「専門性」と「歴史の積
み重ね」についてご紹介をしましょう。
大学の図書館は、学部・学科の構成に
応じて入門書から専門書まで学術系の文
献を幅広く網羅しているのが大きな特徴
のひとつです。もちろん公共図書館にあ
るような小説や実用書などもあります
が、学問の発展を支えるための専門的な
蔵書群がメインです。「研究者なら必読」
といわれる名著があったり、学術雑誌や
海外の文献、古典や貴重な資料を多く所
蔵している点も見逃せません。
皆さんの先輩方や先生方は、これらと
格闘をしながら学問の荒野を拓いてきま
した。「ある学説が提唱される→それに
賛同や反論が寄せられる→さらに議論を

「こんな研究をしている人がいるんだ」
という気づきや出会いがきつとありま
す。
学園大の場合、人文社会系の人は山鼻
キャンパスの、工学系の人は豊平キャン
パスの図書館も忘れずに利用してくださ
い。また書庫へも潜ってみましょう。書
庫は開架スペース以上に知の迷宮です
が、勇者たる者ダンジョンの攻略を恐れ
てはなりません。
「助言1」他大学の図書館にも行っ
てみてください。学園大にはない文献が
あったりしますし、書架からその大学の
歴史や校風を感じることができます。建
物のデザインやインテリアなどを味わっ
てみるのも楽しみのひとつです。図書館
はその大学の文化と出会う場でもあるの
です。
北海道では「北海道地区大学図書館協
議会相互利用サービス」を実施しており、
主な大学の図書館は学生証があれば入館
することができます。こんな便利な制度
があるのですから使わない手はありません
。観光気分でも構いませんので、あちこ
ちの大学図書館に出かけてみるのもオス
スメです。
さて、上記の助言に共通するキーワー
ドに気がつきましたか。そうです「出会
い」ですね。大学に入って新たな友人と
の出会いも大事ですが、本との出会いも
またとても大切です。「フィルターバブ
ル」という言葉を聞いたことがあるかと
思います。ネットでは意外に限られ
た情報としか出会うことがない」と指摘
されています。自分の知らない考え方、
知らなかった世界を見せてくれるのが本
です。書いてあることに共感したり主張
に意表を突かれたりなど、諸々を含めて
本というのはつまり「他者」なんです
。どうか図書館の本たちとの素敵な出会
いがありますように。



HGU Library 大学図書館の魅力

『大学図書館ってどんなところ？』『公共図書館や学校図書館と何がちがうの？』
そんなみなさんに大学図書館をご紹介します。



Q. 大学図書館と他の図書館の違いは？
A. 公共図書館より『専門的な資料』を多く収集・
所蔵しています。

大学図書館は「学校教育法」に基づく文部科学省の省
令「大学設置基準」により設置が定められています。“教
育研究上必要な資料を、図書館を中心に系統的に備え
る”必要があるため、公共図書館等では収集しない専
門的な図書・学術雑誌・視聴覚資料等が大量に所蔵さ
れ、大学の高等教育と学術研究を支えています。

Q. なんだか難しそう…。一般書はあるの？
A. 一般書（小説や実用書など）や雑誌も豊富
に揃えています。

話題の本は、予約待ちでも公共図書館より早く借りら
れることが多いのでぜひご利用ください。就職・資格
関連本や問題集も人気です。

2024 年度 図書貸出ランキング

1 位	『成瀬は天下を取りにいく』	宮島 未奈 著	25 件
	『成瀬は信じた道をいく』	宮島 未奈 著	25 件
3 位	『変な家 2～11 の間取り図』	雨穴 著	23 件

北海学園大学が力を入れて収集する分野

学部／研究科関連

経済・経営・法・人文・工
＊学科の特性に応じて揃えます

課程科目関連

教職・図書館学・
学芸員・社会教育主事

一般教育科目関連

言語・自然科学・北海道関係など
＊開講科目が多いので幅広い！

蔵書数

『82 万冊』道内の大学で 2 番目！
館内の書棚（開架）にあるのは約 15 万冊。残
りはすべて書庫（閉架）に収納されています。
在学中は手続きをすれば書庫に入ることも可
能です。

Pick up!

『山小屋文庫』
山岳系サークルが多く、山小屋を 2 つ所有す
る本学では「山」に関連する書籍も多く収集
しています。本館 3 F にコーナーがあるので
ぜひご覧ください！



使ってみよう！

『電子リソース』〈データベース・電子書籍〉

学外からいつでも利用可能な『電子リソース』を在学中は自由に利用できるのも大学図書館ならではの
学術論文・新聞記事の「データベース」は大学で契約しており、インターネット検索よりも出所がしっかり
した情報を得ることができます。また、紙媒体の分厚い事典類や新聞縮刷版等は館内閲覧のみのため、デー
タベースが利用できるととても便利です。
「電子書籍」は 5,000 タイトル以上が利用できます。来館前に OPAC（蔵書検索）で検索すると、学修に必要な
本がその場ですぐに読めるかもしれません。

※電子リソースの学外利用には、初回のみ「学外アクセスサービス」の設定が必要です



図書館のお仕事

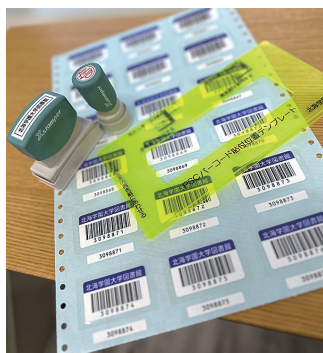
図書館では、学生の皆さんの目に触れない場所でも、様々な仕事が行われています。
北海学園大学附属図書館で働く職員に、担当業務について聞きました。

- ①仕事内容を教えてください。
- ②どんなことに気を付けていますか？
- ③図書館のおすすめ利用方法を教えてください。



1

選書・資料登録業務スタッフ〈図書館歴19年〉



仕事に欠かせない物たちです

①小説や話題の本を主に選書しています。本屋で平積みや棚にディスプレイされているものをメモして、最近の売れ筋や大学生が興味のあるような本を入れることができます。よう参考にしています。新聞の書評や各文学賞のチェックも欠かせません。人気のある著者の本や、すでに所蔵している本の続刊はもちろんですが、新規の著者の本も開拓して、さまざまな本と出会える手助けができたらいいなと本屋でメモする日々を送っております。スマホ片手についている人がいたら私かもしれません。

本が納品された後に登録する仕事も担当しています。本の置き場を決めるために、日本十進分類法に沿って請求番号という住所と、この図書館での固有の番号を本に付けてデータ入力し、OPACで検索できるように登録しています。検索の方法等は詳しくは利用案内に載っているので読んでみて

②マイナーすぎるものや偏った内容のものはできるだけ選ばないよう気を付けています。人間の誰でもどうしても好みが出てしまうのですが、自分の興味のないジャンルでも話題になっていて偏っていないければ選書するようにしています。たまにちょっと許されそうかな挑戦的な本を少しだけ入れたりしています、すみません。

何より選書した本がきちんと借りられているのを見ると選んでよかったと安心します。

③個人的なおススメは新着の棚や好きなジャンルの棚を眺めることです。新しい本との出会いがあるかもしれません。



一定の条件があるので、希望された全ての資料を所蔵することはできませんが、可能な限り多くの利用者のご期待に添えるよう努めますので、ぜひ、リクエストしてみてください。

2

予算・資産管理業務スタッフ〈図書館歴2年〉

①多岐にわたる図書館業務のうち、主に資料を利用者に提供するのための準備やその後の管理を行っています。

まず、図書館に所蔵する資料を選書し、発注の手続きを行う「資料収集」があります。資料収集の予算は、資料の内容などによって細分化されており、全部で31種類あります。各予算の状況を管理する「予算管理」も重要な業務の一つです。

また、資料を管理する「資産管理」も行っています。年2回の蔵書点検では本の検査を行い、資料に問題があった場合、置き場所の修正や修復作業、除籍処理を行います。

この他に、本棚満杯問題（書庫

②図書館業務は専門的な知識も必要となるもので、気を付けなければならぬことが尽きません。日々の業務の中では、大学図書館として学びをサポートできるか、多くの利用者に満足してもらえるか、幅広い分野の資料を提供できるかといったことを、常に意識するように心掛けています。

③本学の学生さん・教職員の方は、利用したい資料が図書館に所蔵されていない場合、OPACの「My Library」から購入依頼ができます。購入依頼には一定の条件があるので、希望された全ての資料を所蔵することはできませんが、可能な限り多くの利用者のご期待に添えるよう努めますので、ぜひ、リクエストしてみてください。



おすすめ 図書館活用術

図書館サークルの学生に聞きました！

人文学部1部日本文化学科4年
高橋 美羽 たかはし みはね



「大学図書館の魅力」
大学図書館は本の貸し出しはもちろんのこと、様々なスペースがあり、状況に応じて活用することができます。その様々なスペースの魅力を紹介したいと思います。

2階のカウンター付近にはおすすめ本を紹介しているディスプレイがあります。新たな本との出会いを求めている方におすすめです。更に各学部推薦図書コーナーもあります。私はレポートを作成する際にこちらの推薦図書コーナーを利用したことがあります。

レポート作成に非常に役立ちますので是非活用してみてください。
3階はサイレントエリアとなっており、静かな空間で自習することが出来ます。私も期末試験の勉強をする際に頻繁に利用しています。

勉強をする際に頻繁に利用しています。また、視聴覚ブースがあるため、2階で借りたDVDを鑑賞することが可能です。毎日授業の合間に映画1本を見るという独自のルールを設けると非常に楽しいかもしれませんよ！

大学図書館には今回紹介したスペース以外にも様々な魅力があります。図書館を利用し、魅力を実感いただけたら幸いです。



図書館サークル「おおぐま座」のメンバー

人文学部1部日本文化学科4年
武石 琉花 たけいし るか

図書館サークル「おおぐま座」について

北海学園大学図書館サークル「おおぐま座」は、人文学部のゼミ生を中心にして2024年に発足しました。学生の目線で本学附属図書館の活用について発信することが目的で、図書館職員とも協力しながら活動しています。

現在の主な活動内容は、ビブリオバトルの開催や図書館内でのおすすめ本の展示、Xアカウントでの図書館情報の発信です。2024年は全国大学ビブリオバトルのブロック予選会を開催し、北海学園大生だけでなく他大学からの参加者も集まりました。また、図書館内の特集コーナーにて、学生が本学蔵書から選んだおすすめ本と手作りの紹介用ポップを展示しました。この展示については、定期的にテーマを変更して本やディスプレイの入れ替えを行っています。

今後は右記の活動内容に加えて、図書館のデータベースを活用したレポート作成方法紹介なども考えています。また、Xでの情報発信もさらに進めていく方針です。より多くの人に図書館の魅力を知ってもらうため、活動に協力してくれる学生の参加を心待ちにしております。

おおぐま座の
Xアカウントはこちら



図書館オリエンテーション 参加者募集

図書館職員が、みなさんと一緒に館内を歩きながら、図書館の利用方法を説明します。
資料の検索方法や本の並び方、普段入ることのない書庫の見学など、大学の図書館にはこれからの学生生活において役立つ情報がたくさんあります！オリエンテーションを通じて、図書館を「見て」・「聞いて」・「触って」みませんか？みなさんのご参加をお待ちしています！

参加対象	全学生（主に新入生、編入学・転入学生） ※ 個人での申込みに限ります。
開催期間	2025 年 5 月～ 6 月頃 数日実施（予定）
実施時間	各日 ① 14:20 ～ ② 17:50 ～ 各 60 分程度（予定）
実施場所	図書館本館（豊平キャンパス）

※ 実施日時等の詳細については、決まり次第 G-PLUS! および図書館ホームページでお知らせします。

2025年度 図書館スタンプラリー

本を読んで、オリジナルファイルやオリジナルブックカバーをもらおう！

参加方法	豊平本館または工学部図書室カウンターで「スタンプカード」をもらい、本を借りるときに 1 冊につき 1 スタンプを押してもらいます。
開催期間	2025 年 4 月 1 日～ オリジナルグッズがなくなるまで

開館日・利用時間

		開館日	利用時間	休館日
図書館本館 （豊平キャンパス）	1F ラウンジ	月～土	9:00 ～ 22:30	・日曜 ・祝日 ・大学の指定する 全学休業日 ・その他臨時休館日
	2F ワーク・エリア	月～土	9:00 ～ 22:00	
	3F サイレント・エリア	月～金	10:00 ～ 21:00	
	4F アクティブ・エリア	土	10:00 ～ 17:00	
工学部図書室（山鼻キャンパス）		月～金	9:00 ～ 20:00	
		土	9:00 ～ 12:50	

※ 授業および定期試験がない期間（夏季・春季）は、4F アクティブ・エリアは休室、工学部図書室の利用時間が変更になります。
※ 開館日等は変更になることがあります。詳細はホームページでご確認ください。



図書館ホームページ



北海学園大学附属図書館報 図書館だより

2025年4月1日発行 第47巻（通巻231号）

編集・発行 / 北海学園大学附属図書館

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 Tel 011-841-1161

<https://library.hgu.jp>